

「公民連携」で進化する旭

市長 米本 弥一郎



本年4月、企画政策課内に「公民連携デスク」を新設しました。これは企業や大学、各種団体の皆さまからの地域課題の解決に資する提案や相談を一元的に受け付け、互いを対等なパートナーとして、共にその実現を目指すための窓口です。

人口減少やデジタル化など社会情勢が変化する中、複雑な課題を行政だけで担うには限界があります。民間のノウハウや強みを生かし、相乗効果を生む「公民連携」の推進が、何より求められています。まずは市職員の意識改革を図り、全庁的な公民連携人材の育成に力を注いでまいります。

また、企業活動においても社会貢献や地域利益を両立するビジネスモデルが注目されています。今後、公民連携セミナーを開催し、共にまちづくりを進める機運を高めていきたいと考えています。

本年度、具体的な連携プロジェクトが本格始動します。千葉工業大学との「域学連携事業」では、市公式LINEの利用促進、道の駅の魅力向上、商店街のにぎわい創出、観光ポスターの作成に取り組みます。さらに、三井住友海上火災保険とのSDGsワークショップや、銚子信用金庫との若手職員合同研修も予定しています。

これらを通じ、まさに「チーム旭」として力を合わせ、市民の皆さまのウェルビーイングの向上を目指してまいります。

これからの「公民連携」の取り組みにぜひご期待ください。

市長の
活動記録



図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時
土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時
7月の休館日／6日(月)、13日(月)、21日(火)、27日(月)
岡市図書館 ☎62-2560



おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／4日(土)、18日(土)
午前10時30分～11時
場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「きみがなきあと」

木内昇 著 (講談社)

幕末の動乱期、亡き夫への思いを胸に出家し、望東尼の名を授かったモト。独り草庵で和歌を詠み暮らす彼女の人生は、高杉晋作との出会いを機に激動の渦へ巻きこまれていく。



「# 台所のあるところ」

原田ひ香 著 (文藝春秋)

思い通りにいかない日々のいら立ちを抱え台所に立つ、5人の女性の短編集。深夜ドラマを軸に、おのの人生を映し出す「台所」を通じ、悩み考え、前を向いていく姿を描く。

新 着 図 書

- はじめるCanva (でざ子)
- 発酵ライフ (しょうけん)
- ミント邸で夜の茶会を (斎藤千輪)
- 一寸先は闇 (五木寛之、佐藤優)
- デリカシー体操(ヨシタケシンスケ)
- 眠れぬおまえに遠くの夜を
- 大関和 (田中ひかる)
- ぼけていく私(佐藤愛子、響子、桃子)
- (桐野夏生)
- それ、死後もお宝ですか?(古田雄介)
- けんぐわい (朝倉かすみ)
- 家康と七人の忍び (佐藤賢一)
- ウチの子の、結婚相手が見つからない!
- 豆は煮えたか (朝井まかて)
- 金波銀波 (澤田瞳子)
- (石川結貴)
- じゃないほうのオダ (安藤祐介)
- ノスタルジア (島本理生)
- 鳥は飛びながら眠る (渡辺佑基)
- プティック (池井戸潤)
- 血は争えない (深町秋生)
- 宇宙でラーメンは食べられるか (野口聡一)
- コズミック・ガール (伊与原新)
- チャックの数奇な人生 (スティーン・キング)
- 空き家と移住 (垣谷美雨)